

新聞記事に、4月5月は、小学生の交通事故が多くなるとありました。未就学児は、バス通園やおうちの方に連れてきていただいているので「安全」であると思いがちですが、道路を小さい子どもと歩くには、常に注意が必要です。

お子様と歩くときには、必ず子どもと手をつないでください。また、親が道路側を歩き、子どもは内側を歩かせましょう。小さいお子様は、おうちの方と手をつなぐことを嫌がるかもしれません。しかし、歩道は決して安全な場所ではありません。親が子どもの命を守るために手をつないでいるのです。細い曲がり角ではいつ自転車や人とぶつかるかわかりません。危険を回避するために、道路を歩くときには必ず手をつないで歩きましょう。大切な子どもの命を守るために、お願いします。

🎈🎉🎊🎋🎌🎍🎎🎏🎐🎑「幼稚園」は楽しいところ もっともっと楽しくなってきました！🎊🎉🎈🎋🎌🎍🎎🎏🎐🎑

0,1歳児のお子さまは、午睡に段々慣れてきました。2歳児のお子さまは、いつ頃おうちの方と会えるかが分かるようになってきました。年少さんは、自分のロッカーや持ち物がどこにあるのかが分かってきました。年中・年長さんは、いろいろな場面で「一体感」を感じるようになってきたようです。



先日、「運動会ごっこ」がありました。0歳児から年少児と年中年長児で2日に分けて行いました。年中さんは玉入れをしました。かごに向かって必死に投げ入れ、笛が鳴ると「1,2,3…」と玉を数え始めました。自分のチームが勝ったとわかると、「やったあ!!」とお互いの顔を見合わせ大喜びしました。皆でよりたくさん玉を入れたことを喜べることは、「協力」「達成感」などの感情をいっぱい味わえたといえます。年少さん時代は、徒競走で自分たちが「勝負」をしていることさえ気にせず、勝っても負けてもニコニコ顔でゴールしていたのに、今や体力や玉を投げ入れる身体調整力もぐっと上がり、みんなで頑張った喜びの表現に目を見張りました。もちろん負けてしまった悔しさも同様です。「今度は絶対勝ちたい」「どうやったらできるようになるの」とお子さまは「考え」「工夫」を重ね、「体を動かす楽しさ」を経験していきます。



こんな体験をしているお子様もいます。今までダンゴムシを触ることは一度もなかったAさんは、年中さんになって「わたしもさわりたい」と言うと、Bくんが丸まったダンゴムシをそーっと手のひらに載せてくれたこと、一人で遊ぶことが多いC君に、保育者が「2歳のお友だちと手をつないでバスまで行ってくれるかな」とお願いすると「いいよ」と優しくエスコートしてくれたことなど、職員は、お子様一人ひとりの成長の姿を見ています。



おうちの方にプレゼント作り！どこにはろうか思案したり、配置を考えたり頭の中は大忙し！

今日は鈴とトライアングルに
Try!
「きれいな音がするね」



「はいどうぞ」あれ？お片付け
中？なんでも遊びに変わっちゃう

上も気になるし…おや？なんだ
下に映るきれいな色は!!!!!!
大発見ですね

